
コロナ禍の「知恵や工夫」共有 & 促進ポータルサイト

「新しい暮らし」始動

コロナ禍における新しい生活様式をみんなの知恵と工夫で作り上げる
ポータルサイト 7月21日(火)よりスタート



新しい暮らし

(URL: <http://atarashii-kurashi.jp/>)

2020年私たちを襲った未曾有の禍・新型コロナウイルス。それでも、私たちは明日を生きていくかなくてはなりません。しかし、日々の生活を安全・安心なものにしながら同時に質も維持する新しい生活のあり方は模索中であり、定まっていません。私たちにはまだ、安全安心のための大小様々な「自粛」と経済を回し生活の質を維持する「活動」との正しいバランスが見えていません。日々もたらされる数字や情報に揺れ動き、誰しもが“コロナモヤモヤ”を抱えながら日々を送っています。

一方でそんな現状を明るく照らしてくれる希望の光もあります。このコロナ禍を乗り越えるための知恵や工夫がすでにあちこちで生まれています。みんなの叢智を結集することで、安全・安心と質の維持を両立しながら、時には今までなかった楽しみさえ発見できるような、新しい生活のあり方がきっと見えてきます。

「新しい暮らし」は、そんな希望の光である知恵や工夫を集め、さらに大きな光である新たな知恵や工夫がどんどん生まれてくるようなポータルサイト「atarashii-kurashi.jp」をリリースすることになりました。2020年7月21日(火)にリリースします。

■「新しい暮らし」とは

「新しい暮らし」は、新しい生活様式が求められるコロナ禍において少しでも、安全に安心して、時には楽しんで過ごせるようにという想いから誕生したプロジェクトです。

2020年4月7日の緊急事態宣言発令から約3か月間、これまでの「ふつう」がすっかり変わってしまいました。このコロナ禍において、私たちそれぞれが抱える悩み事や気持ちの中のモヤモヤは刻一刻変化、と同時にそれらを解消する様々な知恵や工夫が生まれています。

「新しい暮らし」では、これら多くの声や、知恵や工夫を、散らばったままにするのではなくひとつにまとめ、コロナ禍の新たな暮らし方や楽しみ方を提案するポータルサイトを立ち上げることにいたしました。そしてこのポータルサイトに集まった声や知恵や工夫の輪をひろげ、そこからさらに新しい知恵や工夫が次々と生まれていくことを目指しています。

「自粛」と「活動」の狭間で揺れ動く漠然とした“コロナモヤモヤ”が蔓延する今、このサイトを訪れることで新しい発見がある、モヤモヤした気持ちが少しでも晴れたと感じていただける、そんな気持ちになってもらえるプロジェクトを目指しています。

[サイトトップイメージ]



[知恵や工夫の紹介イメージ (例:接触確認アプリ)]



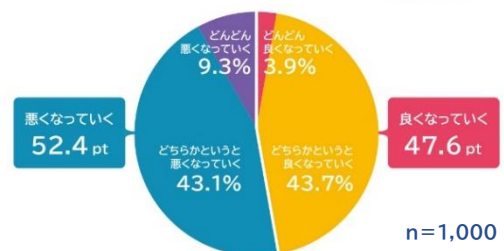
■「新しい暮らし」設立の背景とは

「新しい暮らし」サイトは、新型コロナウイルスとともにある暮らし方や楽しみ方の知恵や工夫を知ること、少しでも不安から解放され前向きで明るい気持ちになってほしいという想いから生まれたポータルサイトです。

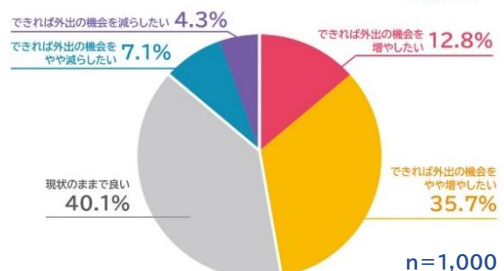
事実、「新しい暮らし」が実施した独自調査によると、これからの暮らしをより良くしていくためには、日々の暮らしの中で生まれる“コロナモヤモヤ”を解決する知恵や工夫が求められていることがわかりました。感染拡大防止行動と経済活動再開の狭間で、私たち生活者はコロナ禍の暮らしにおいて日々喜びと不安や心配が入り混じった“コロナモヤモヤ”を抱えています。たとえば、今後の暮らし向きの予想については、【悪くなっていく】と答えた人が半数を超えている一方で、活動を再開することは現状維持と、様々な活動の再開に向けて一歩踏み出すことができない葛藤が見て取れるデータとなっています。

また、自由記述欄ではそうしたジレンマが具体例として挙げられており、お出かけやマスク、徐々に開始されている通勤・通学についてなど具体的な“コロナモヤモヤ”がいくつも確認されました。

この先あなたの生活や暮らし向きはどのように変化していくと思われますか。
(お答えは1つ)



今後の外出について、あなたの本音のお気持ちとしては、どれが最も近いですか。
(お答えは1つ)



自粛活動と経済活動の過渡期で生まれる“コロナモヤモヤ”例

マスクモヤモヤ

未着用だと白い目でみられるのでマスクしますが、いつまでどの様に生活の中でマスクと付き合っていけば良いのか

お出かけモヤモヤ

県をまたぐ移動が解除になったため、移動してみたが、同僚には公に言いづらい

通勤モヤモヤ

時差出勤開始となったが、他団体も同様の対策を取っているため、従来電車がすいている時間帯がコロナ前よりも密度が高くなっているケースがある

通学モヤモヤ

学校に行けるようになって良かったけど、夏休みがなくなり登校が続くため熱中症が心配

そういった生活が続く中、「新しい暮らし」では、みんなの知恵や工夫を集結させることで、少しでも明るく楽しく、前向きに with コロナ時代を乗り越えるサポートをして参りたいと考えています。

本プロジェクトのイメージアイコンは、たくさんのハート(気持ち)が集まってひとつにまとまっていき、それが前向きに新たなうねりを生み出していく様子を表現したものとしました。

あなたのために、あなたにとって大切な人のために、ひとりひとり、みんなのためになるプロジェクトを目指します。

■「新しい暮らし」ステートメント

2020年、暮らしはすっかり変わってしまいました。

今必要なのは、

あなた自身のことと思うこと。

あなたにとって大切な人のことを思うこと。

困ったことがあれば声に出してください。

きっとあなたを助けてくれる誰かがいるから。

できることを思いつけば声に出してください。

きっとあなたも誰かを助けることができるから。

今までの「ふつう」が普通でなくなって、みんな困っています。

そしてどのくらいどんなふう困っているかは、人それぞれ。

同じ人でも時間が経つにつれて変わっていきます。

新しい暮らしは、まだ定まっていません。

今もあちこちにいろいろな声があり、知恵や工夫が生まれています。

しばらく続くであろうこの事態を

少しでも安全に安心してやり過ごすための知恵。

むしろ今しかできない楽しみに変えてしまう工夫。

新しい暮らしを良くしていくための声、知恵、工夫です。

この声や知恵や工夫が散らばっているのはもったいない。

だから声や知恵や工夫をきちんと見渡せる場所を作ることになりました。

それらを結びつけて、もっと新たな知恵や工夫が

どんどん生まれてくるような場所を作ることになりました。

あなたの、あなたにとって大切な人の、

ひとりひとり、みんなの「新しい暮らし」のために。

困ったことがあれば声に出してください。

できることを思いつけば声に出してください。



新しい暮らし

■「新しい暮らし」でできること

「新しい暮らし」ウェブサイトがしていくこと

困っている声

それを解決するもの、
知恵や工夫

を集めて新しい暮らしサイトで発表します。

まだ解決法がない困りごとには
応援してくれる人や企業とともに
解決法を探したり考えて作っていきます。

「新しい暮らし」でできることは大きく2つです。

声や知恵・工夫を集めることと、新しい知恵・工夫を作っていくことです。

このポータルサイトではコロナ禍の新たな暮らし方や楽しみ方などのティップスを見ることができるほか、お持ちのお悩み、知恵や工夫を「新しい暮らしのポスト」を通じて、自由に投稿することができます。

そして「新しい暮らしのポスト」に寄せられた声はサイト内でご紹介するだけでなく、これから生まれる新たな暮らし方のヒントにもなります。お寄せいただいた生の声を参考に、企業・団体の皆さんと共に場合によってはプロジェクト化して、まだこの世界にない新たな暮らし方や楽しみ方の知恵や工夫を生み出していきたいと考えています。

【「新しい暮らしのポスト」の仕組み】



■新しい暮らしプロジェクトについて

「新しい暮らし」は、しばらく続くであろうこの事態を、少しでも安全に安心して、時には楽しんで過ごせるように、という想いに賛同する有志メンバーで結成されたプロジェクトです。有志メンバー全員が主体的にプロジェクトに取り組んでいます。

■参考資料サマリー(P5～7)

「新しい暮らし」発足にあたり、実施した独自調査の内容を参考資料としてまとめております。

①「新しい暮らし」の事前調査でみえた、みんなの“コロナモヤモヤ”と新たな打ち手の必要性

- ・第2波、第3波に備える、次のステージでは生活関連情報に関連した新たな打ち手が求められている！
- ・“コロナモヤモヤ”を解決する生活関連情報と医療・政府・経済関連情報の量に14.5ポイントの差が！

②「新しい暮らし」第一弾調査！より安全性の高い外出を叶えるであろう接触確認アプリについての本音を聞いてみた！

- ・コロナ感染可能性については、【どちらともいえない】が最も多い！一方で、紐解くと【どちらともいえない】を選んだ2人に1人は不安を感じている人という結果に
 - ・みんな不安を感じているはずなのに接触確認アプリのインストール率9%といまいち…
- 今後についても【インストールするかしないわからない・決めていない】が約59%に！その理由とは？

[参考資料②]

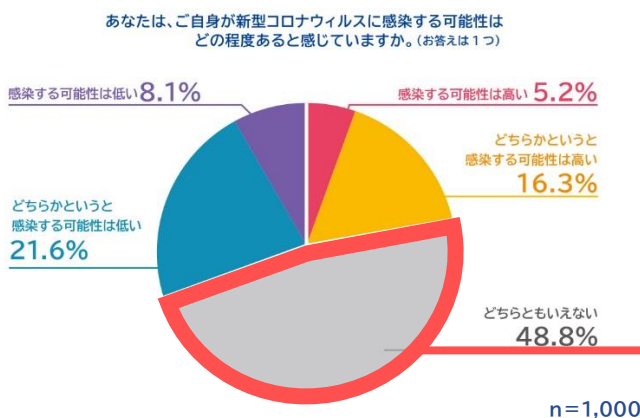
「新しい暮らし」第一弾調査！

外出先での感染の不安を軽減する接触確認アプリと、新型コロナへの感染の可能性についての本音を聞いてみた！

厚生労働省が6月19日にリリースした新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」について、また、新型コロナへの感染の可能性について、みんなの本音を探ってみました。調査からわかったのは、現在のインストール率は9%と低く、インストールしていない理由の多くは「わからない」「なんとなく」であること。一方で、新型コロナウイルス感染の可能性を感じている方が半数近くいること。そのため、「COCOA」の不具合がアップデートされ、その機能や有用性について詳しく周知されていくと、インストール率が上昇していくのではないかと予測できます。

■コロナ感染可能性については、【どちらともいえない】が最も多い！

一方で、紐解くと【どちらともいえない】を選んだ2人に1人は不安に感じている人という結果に第2波、第3波への対応が常々叫ばれていることもあり、【どちらともいえない】を選択している方の半数の実態は感染への不安がぬぐい切れていない状態であることが自由記述の回答より明らかになっています。約半数の方が感染可能性を日々感じながら生活しているという結果が見えてきました。



新型コロナウイルスに感染する可能性に対して【どちらともいえない】と感じた理由(抜粋)

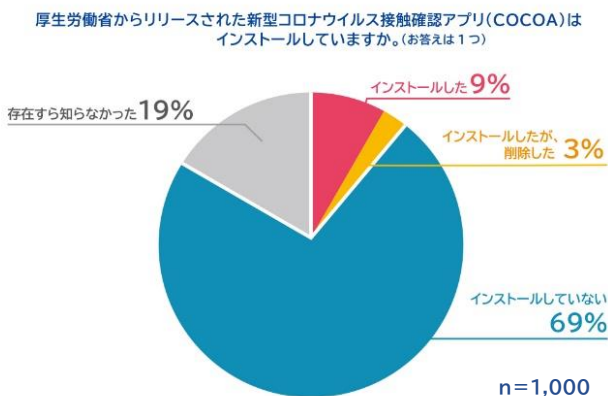
日本の人口と比べて感染者数が少なめに見えるためどこか自分は大丈夫だろうという変な安心感があったり、かと言って気を抜いて油断すれば感染してしまうだろうという半々な気持ち。
(30代男性)

いつどこで感染するか分からないし、感染しても症状がでない場合があつて感染しても分からないから
(20代女性)

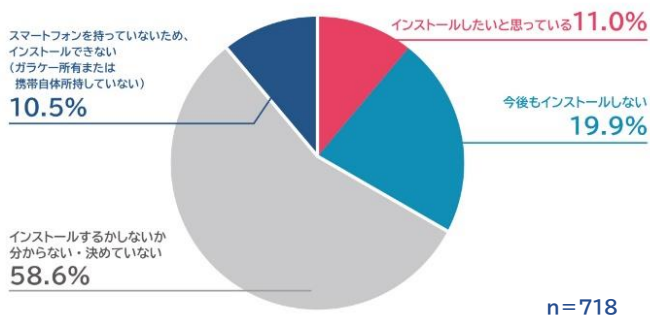
■みんな不安を感じているはずなのに接触確認アプリのインストール率9%といまいち…

今後についても【インストールするかしないかわからない・決めていない】が約59%に！その理由とは？

接触確認アプリのインストール状況と認知度について尋ねたところ、【インストールしていない】が最多の69%に達した他、アプリ未保有者に対して今後のインストールについての意向を尋ねる設問では、【インストールするかしないかわからない・決めていない】が最多の58.6%を占めるという結果になりました。



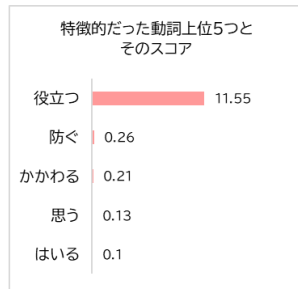
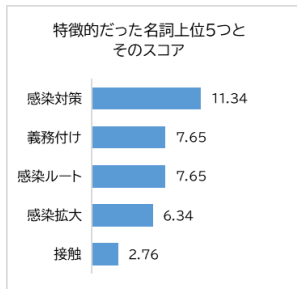
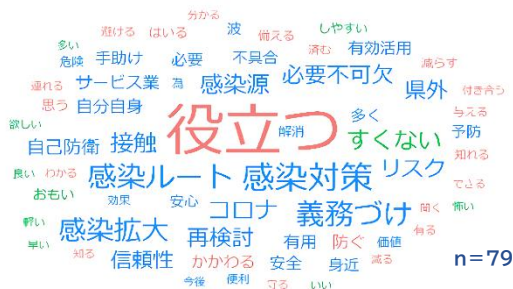
厚生労働省からリリースされた接触確認アプリ(COCOA)を現状、保有していない方にお伺いします。あなたは今後のアプリのインストールについてどうお考えですか。(お答えは1つ)
※アプリを既に削除した方は、これから再度どうするかでお答えください。



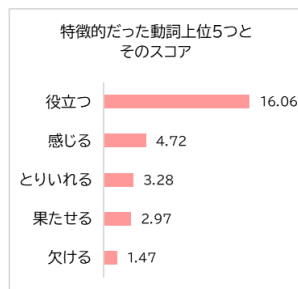
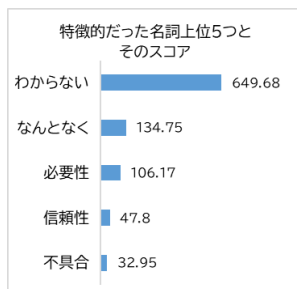
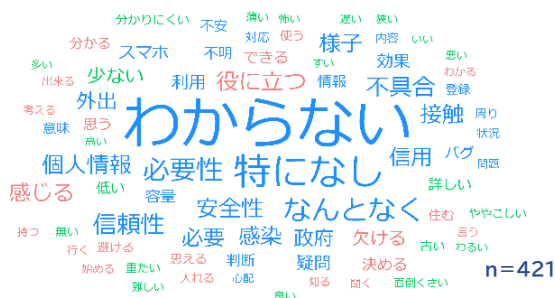
さらに、今後のインストール意向についての自由回答のテキストマイニング(※)を比較すると、【インストールしたいと思っている】方は、感染したか知りたい、分からない事がわかるからという回答が見受けられる一方で、

大多数を占める【インストールするかしないかわからない・決めていない】方は意味があるかわからないから、必要かどうかかわからないから、あまり外出していないから、なんとなくという回答が目立ち、まだ接触確認アプリのメリットや意義が浸透していないことが伺えます。

【インストールしたいと思う】と回答した方の自由回答をテキストマイニングした図



【インストールするかしないかわからない・決めていない】と回答した方の自由回答をテキストマイニングした図

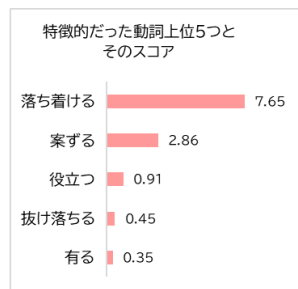
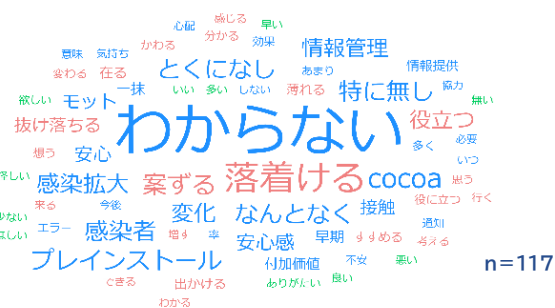


※UserLocal AI テキストマイニングで分析

※スコア…「スコア」の大きさは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表しています。

最後に、既にインストールした 9%の方にインストール全前後での気持ちの変化を伺ったところ、調査時はまだ陽性者通知機能が開始される前だったこともあり、インストールした実感がないため、「特に気持ちの変化はない・わからない」という回答が多かったですが、早く不具合を改善して欲しいといったものの他、「落ち着ける・安心感」といった声も聴かれました。確認アプリは少なからず心理的安心感を与えるものだということがわかる結果となりました。

【インストールした】と回答した方のアプリインストール前後での気持ちの変化をテキストマイニングした図



新しい暮らしでは、こういった生活者の生の声をもとに、現在解決されていないお困りごとや“コロナモヤモヤ”に対して、参画メンバーや企業からその解決に向けた知恵と工夫を募り、みんながより過ごしやすい、楽しく感じる、前向きになる環境をつくっていきたくて考えています。

【調査概要】
 『コロナ禍の生活実態把握調査』
 【調査実施期間】2020年6月26日～2020年6月29日
 調査対象：全国の20歳～69歳 男女
 調査方法：インターネット調査
 有効回答数：1000 サンプル

データ詳細は下記 URL よりダウンロードいただけます。
<http://u0u1.net/civY>